

平成 23 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (H23.9.29 ~ 10.12)
 - (1) 1号議案
平成 22 年度事業報告、収支決算、監査報告(H22.4.1 ~ H23.3.31)
 - (2) 2号議案
平成 23 年度事業計画案、収支予算案
 - (3) 3号議案
平成 23 年度年役員信任案
- 3) 採択 (当会ホームページより投票)

----- 2011.9.29最終

1号議案

平成 22 年度事業報告及び収支決算 (H22.4.1 ~ H23.3.31)

【 事業報告】

〔学術活動〕

1. 全国主催

1) 全国研修会

平成22年5月21日, 神戸市勤労会館

平成22年度 第15回 日本神経生理検査研究会学術講演会

講演1 「光トポグラフィーの特徴と臨床応用 ~ 癖を知りコツをつかもう! ~」

丸田 雄一 技師 (山口大学医学部脳神経外科)

講演2 「顔面神経麻痺におけるENoGの測定方法 基礎から応用まで」

和田 晋一 技師(大阪医科大学中央検査部)

2) 緊急特別企画

[法的脳死判定脳波記録のためのQ & A集] 作成委員会(略: ECI委員会)の発足

主旨と概要: 巻末参考資料参照

予定期間: 平成22年1月20日 ~ 校了までの予定

2. 支部主催 (東日本大震災のために開催延期となった企画も記録として掲載した)

1) 北海道支部

(1) 平成22年9月11日(土)、12日(日), おたる自然の村 内「おこばち山荘」

第45回神経生理検査勉強会(第14回宿泊研修セミナー),

テーマ「睡眠障害」~ あなたの睡眠大丈夫ですか? ~

講演1 『PSG検査のこつと解析』

早坂 宏之 技師(札幌医科大学附属病院 検査部)

講演2 『今日の睡眠医療最前線』

藤田 雅彦 先生(ウェルネス望洋台医院 院長)

講演3 メーカー講演(日本光電 東芝メディカル ケアフュージョン・ジャパン) 15 x 3 = 45分

ナイトセミナー 神経伝導検査・誘発電位・頸動脈エコー・脳波判読・聴力検査

ナイトセミナー SG、脳波、神経伝導検査、大脳誘発電位、頸動脈エコー、聴力検査、etc

講演4 『睡眠の脳波解析プログラムPolysmithと睡眠関連センサーについて』

末松 和三 先生(日本光電工業株式会社)

(2) 平成23年2月26日(土), エア・ウォーター研修センター講堂

第46回神経生理検査勉強会, テーマ「小児てんかんと小児脳波」

講演1 『小児脳波検査のこつ』

早坂 宏之 技師(札幌医科大学附属病院 検査部)

講演2 『小児てんかんの診断と治療』

若井 周治 先生(中の島診療所 院長)

2) 東北支部(平成23年3月11日東日本巨大地震発生のため開催延期となりました。参考掲載)

平成23年3月19日(土),東北大学病院 臨床小講堂

第1回 東北支部勉強会,テーマ:「東北の神経生理の輪を広げ、一步前進しよう！」

講義1「日本神経生理検査研究会の活動紹介と神経生理検査の動向」

市川市リハビリテーション病院 高橋 修 技師

講義2「今求められている脳波検査の再確認」

東北大学病院 三浦 祥子 技師

講義3「当院における糖尿病患者の神経機能検査 ~ 神経伝導検査を中心に ~」

太田西ノ内病院 相原 理恵子 技師

3) 関東甲信越支部

(1) 平成22年10月2日(土),昭和大学4号館6階

第16回関東甲信支部勉強会,テーマ:「2つの法改正,基礎を再確認しよう！」

講演1「神経伝導検査の保険点数改正と臓器移植法改正について」

市川市リハビリテーション病院 高橋 修 技師

講演2「神経伝導検査のQ&A Part .2」

丘整形外科 齊藤 江美子 技師

講演3「改正臓器移植法と脳波検査」

船橋市立医療センター 唐澤 秀治 医師

(2) 平成23年3月27日(日),国立国際医療研究センター研修棟

(平成23年3月11日東日本巨大地震発生のため開催延期となりました。参考資料)

第17回関東甲信支部勉強会,テーマ[疾患からとらえる中枢神経検査]

4) 中部支部

(1) 平成22年9月4日(土),名古屋市立大学研究棟

第15回 中部支部神勉強会,テーマ「保険点数改正の検査を再認識しよう」

講義1「病室での脳波検査のアーチファクト対策」

山本貴子 技師(岐阜社会保険病院 検査部)

講義2「神経伝導検査の臨床応用」

~ 糖尿病性神経障害と手根管症候群、upper uncommon NCS ~

山内孝治 技師(大隈病院 臨床検査科)

講義3「明日からできる術中MEPモニタリング入門」

瀬川義朗 技師(天理よろづ相談所病院医学研究所)

(2) 平成23年4月2日(土),石川県立中央病院健康教育館2階大研修室

第16回中部支部勉強会,テーマ:「初心に戻って基礎から学ぼう」

講義1「SEP波形の読み方と検査の注意点」

岡本恵助 技師(紀南病院 中央検査科)

講義2「OPE室は怖くない~術中モニタリング~」

寺田達夫 技師(愛知医科大学病院 中央臨床検査部)

講義3「神経伝導検査の基礎(上・下肢)~ハンズオンを含む~」

山内孝治 技師(大隈病院 臨床検査科)

5) 近畿支部

平成22年11月13日(土),新梅田研修センター

第1回 近畿支部研修会

講義1 [術中モニタリングのピットフォール]:天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗技師

講義2 [胸部および胸腹部大動脈瘤手術における麻酔法とMEPの有用性]

社会医療法人生長会ベルランド総合病院 麻酔科 堀内俊孝医師

講義3 [機器メーカーセミナー]-新製品の紹介- 日本光電工業株式会社

営業本部検査ソリューション部脳神経BG古谷功氏

講義4 [日本神経生理検査研究会の活動紹介と神経生理検査の動向]

市川市リハビリテーション病院 高橋 修技師(日本神経生理検査研究会会長)

講義5 [改正移植法による対応]:兵庫県臓器移植コーディネーター 藤原亮子講師

講義6 [脳波の起源から臨床へ]:天理よろづ相談所白川分院院長 橋本修治医師

講義7 [考える神経伝導検査]

神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科 幸原伸夫医師

6) 中国四国支部 (平成23年3月11日東日本巨大地震発生のため開催延期となりました。参考資料)

平成23年3月21日(月),山口大学医学部 第C講義室

第1回 中国四国支部研修会

講義1 [脳死下臓器移植時におけるECI記録の準備と心得]

神戸市立医療センター中央市民病院 佐々木一朗技師

講義2 [臓器提供の基礎知識 - 法改正で、どう変わったのか -]

岡山県臓器移植コーディネーター 安田和弘講師

講義3 [機器メーカーセミナー]

講義4 [神経伝導検査] : 市川市リハビリテーション病院 高橋 修技師

講義5 [誘発電位検査入門] : 天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗技師

講義6 [てんかん専門医が求める脳波のとり方]

山口大学医学部脳神経外科学 藤井正美 准教授

7)九州支部

平成22年9月10日(金), 別府市中央公民館

九州支部研修会

講義 [脳波検査 意外と難しい?]

熊本機能病院 片山雅史技師

解説 [平成22年度日臨技サーベイを考える 解答と解説]

九州大学病院 酒田あゆみ技師

【 .平成22年度収支報告】

平成22年収支決算書 (H22.4.1 ~ H23.3.31) (会員数 560名)			
			単位(円)
収入の部	予算	決算	
1. 会費	244,000	461,500	会費、入会金合計。 複数年度納入があるため会員数の乗算ではない。 H20年年会費¥250 × 29名、 H21年年会費¥250 × 301名、入会金¥500 × 94名 H22年年会費¥500 × 509名、入会金¥500 × 155名
2. 事業収入	40,000	31,000	平成22年度日本神経生理検査研究会学術講演 1,000円 × 28、非会員1500円 × 2名
3. 雑収入	100	80	利息
4. 繰越金	138,918	94,518	
合計	423,018	587,098	

支出の部	予算	決算	
1. 事業費	245,500	245,025	
H22年度学術講演会総 会運営費	108,000	101,500	講師料(技師)¥15000 × 2, 会場費¥19900, たれ幕ポスター類 (3)¥8000, 印刷代諸経費¥5000, 実務委員活動費(4)¥14000, 総会事務費(5)¥21000, 飲物¥3600
インターネット事業	17,000	16,275	パソコンソフト(PDF作成用)の購入
表彰	10,000	0	該当者なし
支部活動補助金	110,500	127,250	¥250 × 509名
2. 事務費	83,000	52,805	
会議費	45,000	35,000	執行部活動費
通信費	15,000	12,000	執行部通信費
消耗品費	3,000	4,295	スタンプ
予備費	20,000	1,510	ECI委嘱状送付代
小計	328,500	297,830	
繰越金	94,518	289,268	
合計	423,018	587,098	

【 平成 22 年度 監査報告】

[監査報告書]

平成 23 年 6 月 5 日

日本神経生理検査研究会

会長 高橋 修 殿

平成 22 年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 石郷景子 (印)

記

- 1.会務について。事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
- 2.会計について。会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

2号議案

平成23年度事業計画案および収支予算案(H23.4.1～H24.3.31)

【事業計画】

[学術活動]

1. 全国主催

1) 臨時総会(電子総会形式)の開催

総会の実参加者の減少に伴い会員の意見をより反映できるよう通常総会を電子会議形式で行うために必要な会則改正の是非を問う臨時総会を開催した。

期間: H23.6.28～7.13(会期 16 日間)。

- ・ 当会ホームページ上から、投票および意見提案を行う形式をとった。
- ・ メールアドレスを登録していない会員にはハガキ郵送にて連絡し全会員に開催通知が届くようにした。
- ・ 投票総数 145 票であり、内訳は賛成 142、保留 3、反対 1 であった。32 件の意見添付があり執行部と可能な限り返答に務めホームページで広報した。
- ・ 名簿上会員数は 560 名であり、投票率は 26%と低率であったが、昨年までの総会での参加数(委任状を含め)をはるかに上回っており、また 145 名もの会員が直接ホームページにアクセスし投票したことは大きな意義を持つものと考えている。全会員の投票があれば問題はなかったが、今回は執行部判断で可決とした。
- ・ 改正会則の総会議事の採択についての文章のなかで、解釈が難しい参加者総数については今後も見直しを続ける必要を感じた。ネットでの総会参加形式の不慣れさも低率になったと思われる。

2) 平成 23 年度 第 16 回 日本神経生理検査研究会全国研修会

平成23年12月10日(土) 12:00～ 名古屋市立大学 医学部研究棟

講演 1 神経伝導検査分野 河島江美技師

講演 2 誘発電位分野 技師 未定

講演 3 「電気生理学の基礎(仮題)」

天理よろづ相談所白川分院 橋本修治 医師

講演 4 「脳波判読入門(仮題)」

臨床神経学(神経内科)・准教授 池田昭夫 医師

3) 緊急特別企画(継続) <添付資料参照>

[法的脳死判定脳波記録のためのQ&A集]作成委員会(略:ECI委員会)

予定期間:平成22年1月20日～校了まで

担当委員17名:(当会の法的脳死判定経験者や熟練技師および医師,臓器ネットコーディネーター,機器メーカー等会員・非会員を含む)

当会ホームページ上で公開し随時掲載していく。現在分担執筆編集作業中。

4)有料サーバーを利用してインターネット関連会員サービスの向上を検討(3万弱/年)。

利点

- 1)本会独自のドメインが取得できる。
- 2)メールアドレスは希望者全員に配布可能である。
- 3)メーリングリストは全国レベル,支部,役員・幹事などの大小の単位で作成できる
- 4)ホームページからの入会申込み,総会投票なども可能となる。
- 5)ホームページで会員専用(パスワードかける)ページができる

欠点

- 1)有料であるため毎年3万円弱の維持費が必要である
- 2)議案書作成などを資料グループで共用しながら書き換える作業はできない。
- 3)選挙結果の集計(データベース化)はユーザーが作成しなければならない。

5)専門部会や分科会的なグループを設けて症例検討・サーベイ・検査ポイント等々をネット上でディスカッションできる環境を整備していくことを検討する。

【平成23年度収支予算案】

H23 年度収支予算書 (H23.4.1～H24.3.31)			単位(円)
収入の部	前年度 決算	予算	
1. 会費	461,500	275,000	年会費、入会金(見込み) H23 年年会費¥500×500人、入会金¥500×50人
2. 事業収入	31,000	280,000	参加費(見込み) 3,000円×60名 5,000円(非会員)×20名
3. 雑収入	80	100	利子
4. 繰越金	94,518	289,268	
合計	587,098	844,368	

支出の部	前年度 決算	予算	
1. 事業費	245,025	485,000	
H23 年度全国研修会	101,500	290,000	講師料¥40000×2,¥25000×2,会場費¥0,印刷代諸経費¥20000,実務委員活動費(6)¥12000,総会事務費¥18000,飲物¥10000,費用弁償100,000
ECI 脳死判定マニュアル	0	30,000	資料収集代(厚労省発行のマニュアル購入配布)
インターネット事業	16,275	30,000	有料のメーリングリスト検討
表彰	0	10,000	
支部活動補助金	127,250	125,000	¥250×500=¥125000
2. 事務費	52,805	110,000	
会議費	35,000	35,000	概略¥5000×5,¥10000×1
通信費	12,000	12,000	¥2000×6
執行部行動費		40,000	新規提案
消耗品費	4,295	20,000	
予備費	1,510	3,000	
小計	297,830	595,000	
繰越金	289,268	249,368	
合計	587,098	844,368	

2. 支部開催予定

1) 北海道支部

- (1) 平成23年9月24日, 25日: 第51回神経生理検査勉強会, 第15回宿泊研修セミナー
- (2) 平成24年2月 [予定]: 第52回神経生理検査勉強会

2) 東北支部

平成23年 3月:[予定]第1回 東北支部勉強会

3) 関東甲信越支部

- (1) 平成23年11月27日: 第17回日本神経生理検査研究会関東甲信支部勉強会
- (2) 平成24年 3月 [予定]: 第18回日関東甲信支部勉強会

4) 中部支部

- (1) 平成23年 秋[予定]: 第17回中部支部勉強会
- (2) 平成24年 年度末[予定]: 第18回中部支部勉強会

5) 近畿支部

平成24年1月 [予定]: 第2回 近畿支部研修会

6) 中国四国支部

平成23年11月 [予定]: 第1回 中国四国支部研修会, 山口県宇部市, 山口大学

7) 九州支部

平成23年10月, 会場未定
九州支部研修会
内容未定

3号議案 平成23年度年役員信任案

日本神経生理検査研究会役員案

1. 執行部役員

会長	高橋 修	(市川市川北リハビリテーション病院)
副会長	片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
副会長	水野 久美子	(名古屋市立大学)
事務局長	瀬川義朗	(天理よろづ相談所医学研究所)
会計	河島 江美	(北里大学病院)

2. 支部長

北海道支部	高柳 由佳	(釧路孝仁会記念病院)
東北支部	三浦祥子	(東北大学病院)
関東甲信越支部	高橋 修	(市川市川北リハビリテーション病院)
中部支部	石郷 景子	(大垣市民病院)
近畿支部	佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国支部	丸田 雄一	(山口大学脳神経外科)
九州沖縄支部	酒田 あゆみ	(九州大学病院) (補佐 片山雅史)

3. 評議員会(順不同・敬称略) 13名

高橋 修	(市川市川北リハビリテーション病院)
片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
水野 久美子	(名古屋市立大学)

瀬川義朗 (天理よろづ相談所研究所)
河島 江美 (北里大学病院)
高柳 由佳 (釧路孝仁会記念病院)
三浦祥子 (東北大学病院)
石郷 景子 (大垣市民病院)
佐々木 一朗 (神戸市立医療センター中央市民病院)
酒田 あゆみ (九州大学病院)
丸田 雄一 (山口大学脳神経外科)
菅野 彰剛 (東北大学加齢研)
齋藤 江美子 (丘整形外科病院)

4. 会計監査

石郷 景子 (大垣市民病院)

5. インターネット運営委員(順不同・敬称略)

瀬川 義朗 (天理よろづ相談所研究所)

他 2 名 募集中

6. 表彰推薦委員 (順不同・敬称略)

片山 雅史 (熊本機能病院神経生理センター)

丸田 雄一 (山口大学脳神経外科)

参考資料

[法的脳死判定脳波記録 Q&A]作成委員 ECI 委員会)主旨と概要

1. 名称: [法的脳死判定脳波記録 Q&A]作成委員会(略: ECI 委員会)
2. 背景: 平成 22 年 7 月, 改正臓器移植法が施行されました。以来 8 月 5 例, 9 月 9 例, 10 月 2 例, 11 月 4 例 12 月 9 例, とほぼ週 1 例のペースであり, それまでの 13 年間で 86 例とは格段の例数増加です。提供施設となっている病院施設では, いままでならそのうちに起こるかどうかと思っていた法的脳死判定の機会が明日にも始まるかもしれないという状況に変わってきました。しかし, 世代交代などから法的脳死判定において, 困っている施設や脳波を担当する臨床検査技師の悩みの声や, 研修できる施設はないか? 方法はこれでよいか? などの質問が寄せられています。それらに対して当会でも不十分ではあるけれども一緒に悩みながら対応できるよう情報提供の場を作って行きたい考えました。
3. 目的: 当会の会員には, 法的脳死判定脳波の経験者や技術・方法・手順等々をよく知る先輩諸氏らも多く在籍しているため, メンバーを募り「法的脳死判定脳波記録 Q&A(仮題)」を作成し, 最新情報の提供, 技術的問題点などへの会員サポート等を行うことを目的とする。
4. 内容: 「法的脳死判定脳波記録 Q&A(仮題)」とあるように, 論文形式の理路整然としたものではなく, 私はこう考えるやこう対処したという積極的に一緒に考えていきましょうとした回答でも良しとする。
また, 会員が過去に勉強会などで講演したプレゼン資料も可能な範囲で掲載する。なお, Q の草案はありますが, 必要なら当会メ - リングリストにて随時募ることもありといたします。
5. 情報提供の方法: 当会ホームページにて公開し必要な時に自由に閲覧できるようにする。
6. メンバー: 当会会員, 脳死判定経験の臨床検査技師, 医師, 臓器ネットのコーディネーター, 機器メーカーの神経担当者など。 委員 17 名
7. 活動準備: H22.11.21 評議員会に提案, H22.12.28 全国メ - リングリストにておしらせと質問(Q)の公募を行った。